学校番号	3006

令和８年度　工業科（工業デザイン系）

教科	工業科	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は答えのある決められた内容をするのではなく、各自が自分の興味のあるテーマを選び、その目標に向かって試行錯誤を繰り返しながら進めていくものです。１，２年生で学んだ知識を活かし、さまざまな資料を活用しながらテーマに沿った学習を行います。最終的には、研究成果としてまとめ、課題研究発表会にて参加者の前で発表します。

2　学習の到達目標

デザインに関連する課題を設定し、専門的な知識と技術の深化・統合化を図るとともに、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を養う。さらに課題研究発表会を通して、プレゼンテーションの能力を習得する。課題解決型の学習を行う中で、忍耐強く物事に取り組む姿勢、問題を解決しようとする努力を身につけ、将来社会生活をうえでの「生きる力」を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題解決のための必要な情報を、目的に応じて様々な方法で収集し、それらを必要に応じて資料として整理して知識を深化させ、提示することができる。さらに様々な材料を使い、発想したアイデアをカタチにして提示することができる。	得られた情報や知識をもとに、問題解決にむけた新しい考えを発想することができ、そのアイデアが実現可能なものなのかを検証することができる。さらに研究内容を人にわかりやすく発表を通して伝えることができる。	選択したテーマについて問題意識を高め、意欲的に取り組み、グループ内で協力し話し合いながら作業を進めることができる。特にグループ内で自分の役割を意識し、全体へ貢献するための取り組みができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	テーマの設定	課題研究のテーマを考える 年間計画の設定 必要な調査内容を決める アンケートの実施等	a:テーマを 決めるために必要な情報をえるために、情報機器をあつかい検索することができる。 b:テーマを決定するにあたって、必要な年間計画をたてることができる。 c:意欲的に問題解決に向けたプロセスに取り組んでいる。	レポート 中間発表	レポート 中間発表	レポート 振り返りシート
	資料の収集・分析	資料の収集 資料の整理 資料の分析 資料のグラフ化 問題点の抽出 キーワードの抽出 コンセプトの設定	a:必要な情報を収集し、整理してテーマ決定のための準備作業ができる。 b:収集した情報を分析することで、新たな問題点を見出し、コンセプトを設定することができる。 c:意欲的に問題解決に向けたプロセスに取り組んでいる。	レポート 中間発表	レポート 中間発表	レポート 振り返りシート
二学期	アイデアの提案	ブレーンストーミングによるアイデア出し スケッチの作成 図面の作成等	a:コンセプトから、新しいアイデアをスケッチとして表現し、他の人とイメージを共有することができる。 b:グループワークで問題解決のための仮説を立て、新しいアイデアを提案および検証することができる。 c:意欲的に問題解決に向けたプロセスに取り組んでいる。	レポート 中間発表	レポート 中間発表	レポート 振り返りシート
	作成	材料の選択 図面の作成 模型の作成等	a:アイデアをカタチにするために最適な材料を使って正確に作ることができる。 b:プレゼンに必要な製図や模型について大きさや素材を検討し、検証することもできる。 c:意欲的に問題解決に向けたプロセスに取り組んでいる。	レポート 中間発表	レポート 中間発表	レポート 振り返りシート

三学期	プレゼンの準備	必要な資料の収集 パワーポイント作成 視覚的原理の考察	a:必要な資料を取捨選択し、それをもとにパワーポイントなどのプレゼンソフトを使って有効なプレゼンテーションを作成することができる。 b: どの資料を使い、どのような手法、順番でプレゼンを作成すればよいかを考えながら制作することができる。 c:意欲的に問題解決に向けたプロセスに取り組んでいる。	レポート 中間発表	レポート 中間発表	レポート 振り返りシート
	プレゼン	発表練習 発表時間の計測 発表内容の精査	a:パワーポイントなどのプレゼンソフトを使って、時間内にわかりやすい発表をすることができる。 b:時間内に必要な事項をプレゼンするために、発表内容を検証し他の人の意見を取り入れ、内容のブラッシュアップができる。 c:意欲的に問題解決に向けたプロセスに取り組んでいる。	レポート 最終発表	レポート 最終発表	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度